

平成29年度第42回仙台市中学校新人柔道大会要項

1. 主催 仙台市中学校体育連盟 仙台市教育委員会
2. 主管 仙台市中学校体育連盟柔道専門部
3. 目的 仙台市内中学校生徒相互の親睦と柔道技能の向上と普及をはかる。
4. 日時 平成28年10月7日（土）～8日（日）

10月7日（土）	10月8日（日）
<p>【男女団体 予選・決勝】</p> <p>7：30 役員集合 会場準備・点検</p> <p>8：00 開場 受付</p> <p>8：15～ 男女団体戦 非公式計量</p> <p>8：40～ 公式計量 柔道衣検査</p> <p>9：10～ 監督会議</p> <p>9：30～ 開会式</p> <p>10：00～ 競技開始</p> <p>12：30～ 表彰式</p> <p>12：00～ 男女個人戦のみ出場校 受付・非公式計量</p> <p>13：00～ 男女個人戦 公式計量服装検査 (公式計量開始より60分後服装検査終了)</p> <p>14：00～ 監督会議</p>	<p>【男女個人戦】</p> <p>8：00 開場</p> <p>8：30～ 監督会議</p> <p>9：00～ 男女個人戦</p> <p>13：30～ 表彰式・閉会式</p> <p>14：00～ 会場撤去</p>

5. 会場 宮城県武道館（仙台市太白区根岸町15-1 TEL 249-1216）
6. 参加数
 - (1) 団体試合, 個人試合
 - ① 団体戦のチームは, 1校単位で編成したチームとする。
 - ② 男子チームの人員は, 選手8名以内（選手5名・補欠3名）とする。
 - ③ 女子チームの人員は, 選手5名以内（選手3名・補欠2名）とする。
 - (2) 個人戦は男女とも8階級とする。また、体重区分は次の通りとする。
 - ① 男子 50kg級（50kg以下） 55kg級（50kg超～55kg以下）
60kg級（55kg超～60kg以下） 66kg級（60kg超～66kg以下）
73kg級（66kg超～73kg以下） 81kg級（73kg超～81kg以下）
90kg級（81kg超～90kg以下） 90kg超級（90kg超）
 - ② 女子 40kg級（40kg以下） 44kg級（40kg超～44kg以下）
48kg級（44kg超～48kg以下） 52kg級（48kg超～52kg以下）
57kg級（52kg超～57kg以下） 63kg級（57kg超～63kg以下）
70kg級（63kg超～70kg以下） 70kg超級（70kg超）
7. 競技規則
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2017年施行の新ルール)「国内における少年大会特別規定」による。
 - (2) 柔道衣は白色とし, 女子の黒帯は白線入りも可とする。
 - (3) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
 - (4) 柔道修行6か月未満の者は, 大会に出場できない。ただし, 保護者の同意を得た場合は別とする。

8. 試合方法

(1) 団体戦

- ① 予選をリーグ戦で行い、各組の1位と2位のチームで決勝トーナメントを行う。
女子は全参加チームによるリーグ戦を行う。ただし参加チーム数によっては男子と同様、予選リーグの後、決勝トーナメント戦を行う。
 - ② 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
 - ③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- ※ 選手変更は、その都度監督が所定の用紙に記入し、記録本部、試合会場、委員長に提出する。
- ④ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
勝敗の判定基準は、「一本」「技有」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技有」 > 「僅差」

- ⑤ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は、次の方法によって決定する。
ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う)。
 - ⑥ トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。
ア チーム間における勝ち数による。
イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
 - ⑦ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
- ### (2) 個人戦
- ① 男女とも、各階級トーナメント方式で行う。
 - ② 試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
 - ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技有」とする。得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

9. 計量及び柔道衣点検

計量および柔道衣点検は、下記の方法にて行う。

(1) 【計 量】

- ① 公式計量の前に非公式計量(仮計量)を行うことを認める。
- ② 非公式計量では、指定時間内に自由に体重を測定することができる。
- ③ 公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。

切

- ④ 公式計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。なお、下着の着用は認めるが、包帯・サポーター等の着用は認めない。

ア 団体戦

- ① チームごとに登録選手全員が測定を行うこと。
② 公式計量には監督が立ち会うこと。
③ 順番の入れ替え等があった場合は通知する。

イ 個人戦

定められた階級の体重区分内にない者は失格とする。

※ 別室計量が必要な者は、あらかじめ申し出ること。

(2) 【柔道衣点検】

- ① 公益財団法人 全日本柔道連盟柔道着規格に合格した柔道着（上衣・下穿き・帯）を着用する。
② 柔道衣に必ずゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。

ア 布地は白（晒，太綾）とする。

イ サイズは横30～35cm，縦25～30cmとする。

ウ 名字（姓）は上側2／3，学校名は下側1／3とする。

エ 書体は太字ゴシック体とする（明朝または楷書でもよい）。

オ 文字色は、男子は黒色，女子は濃い赤色とする。

カ 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で，周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

- ③ 女子は，上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。

※ Tシャツのマーキングについては，公益財団法人 全日本柔道連盟が定める規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。

- ④ 柔道衣コントロールの際は，試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。

- ⑤ 胸マーキング等について，道場名等は不可とする。

- ⑥ 試合時に膝下より長いスパッツ等の着用は認めない。

※ 帯については、「JUラベル」「IJFマーク」がついているものを

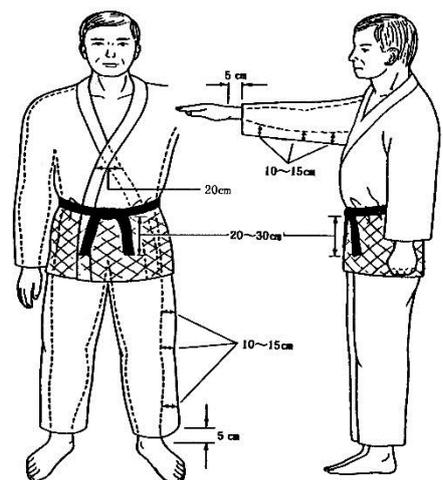
用すること。

※ IJF基準柔道着（新規格）は平成30年度より採用する。

<例>

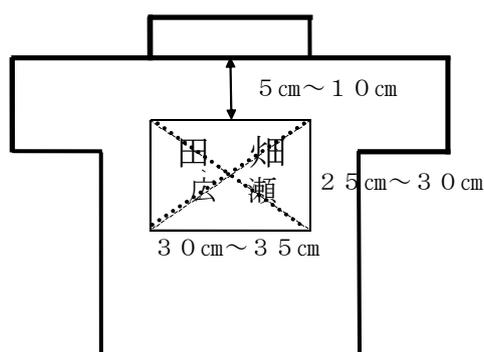
国際柔道連盟試合審判規定（附則）

柔道衣のサイズ：



使

※ゼッケンのサイズ及び縫いつけ場所



10. 引率・監督

- (1) 参加生徒の引率・監督は出場校の校長・教員であること。
- (2) 大会では外部コーチを置くことができる。ただし、平成29年度に外部コーチ登録をした者のみとする。外部コーチには教員の登録を認めない。また同一人が複数校の外部コーチになることはできない。
コーチの条件とは次の通りである。
 - ① 当該校の校長が認めた者。
 - ② 年間を通じ、日頃から学校の部活動を指導している者。
 - ③ 中体連の大会運営に関して、理解を示し、協力的な者。
 - ④ 外部コーチは、中学校の教職員でないこと。
 - ⑤ 審判員に準じた服装をすること。※ 大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場をさせる事もある。
- (3) 全日本柔道連盟が示す「試合場におけるコーチの振る舞い」を熟読し参加すること。
- (4) 引率・監督は、審判員に準じた服装をすること。

11. 表彰

- (1) 団体戦
 - ① 優勝校には、賞状・優勝杯を授与する。優勝杯は持ち回りとし、翌年の大会で返却する。
 - ② 準優勝校・第3位校（2チーム）には、賞状を授与する。※ 女子は全市一斉リーグの場合は上位3校を表彰する。
- (2) 個人戦
 - ① 各階級第1位には優勝杯と賞状を授与する。第2位と第3位（2名）には、賞状を授与する。※ 出場人数が少ない場合には、部会で表彰人数を定める。

12. 上位大会への出場枠

- (1) 団体戦
 - ① 男子第3位校は県大会への出場権を得る。
 - ② 女子はオープン参加とする。
- (2) 個人戦
県大会は実施しない。

13. 参加申込 (1) 申込み方法

出場校、出場選手の顧問の先生は、仙台市中学校体育連盟webサイト内よりダウンロードし、記入漏れの無いように、必要書類をそろえ、下記申込先に郵送、電子デ

一夕を期限厳守で提出すること。

- ① 【申込書類=『申込』】「プリントアウト→職印押印→巡回メール等で提出」
 - ② 【電子データ=資料作成用】「入力→EメールかC4 t hにて添付ファイルを提出」。
- ※ 上記の①をもって『申込』とさせていただきます。(②は、資料作成のためのデ

夕に使用します) ★申込期限 平成29年9月4日(月)

- (2) 申込書類
 - ① 柔道競技申込書 (No.1) ※必ず提出 (校長職印を忘れずに)
 - ② 柔道競技申込書 (No.2) 団体戦 (男子)
 - ③ 柔道競技申込書 (No.3) 団体戦 (女子)
 - ④ 柔道競技申込書 (No.4) 個人戦 (男子)
 - ⑤ 柔道競技申込書 (No.5) 個人戦 (女子)
- (3) 申込先

〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央一丁目9-1

TEL: 022-392-2214

仙台市立広瀬中学校

田 畑 将 人

メールアドレス: i04072@yahoo.co.jp

14. その他

(1) 個人情報の取り扱い

大会主催者は個人情報保護に関する法令を遵守し、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報は競技大会の資格審査、競技大会運営上必要なプ

ロ

グラム編成及び作成、掲示板、報道発表、記録発表等、競技運営および協議に必要な連絡に利用する。大会に参加する各選手はこれに同意する。

※ 個人情報保護の観点から、パンフレットに氏名を掲載することができない事由がある場合には、自校の中体連評議員と連絡の上、直接中体連事務局まで問い合わせ下さい。

- (2) 団体、個人ともに所定の期日までに申し込みのない場合は棄権とみなし以後は受け付けない。
 - (3) 柔道精神に反する選手は、大会への出場を停止する。
 - (4) 柔道選手らしからぬ頭髪(パーマ、脱色、染色、眉を剃るなど)等の認められる選手は、大会への出場を禁止する。各校で指導徹底すること。
 - (5) 試合会場への出入りは、役員、監督、選手、補助員、大会に登録した外部コーチのみとする。上記以外の出入りがあった場合は、そのチームが負けになることもあり得る。
 - (6) 大会申込書を提出後、選手の病気、負傷等で選手変更を必要とする場合。
団体試合…当該校長から理由書を提出すること。(様式は特にないが職印必要)
- ※ 変更届は、監督会議前に委員長に提出すること。試合当日は、選手登録の交代のみ

とし、体重順に編成替えをすること。（一度退いた選手の再出場は認めない。）

（7）脳振盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守する。

- ① 大会1か月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（尚、至急専門医の精査を受けること。）
- ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。当該選手の指導

者

は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告を提出すること。